三田市民病院
三田市民病院は、地域の中核病院として安心、納得、温かい心のこもった医療を提供し、地域住民の支えとなる病院を目指します。
平成27年9月

すこやか 9月号

第187号
SANDA CITY HOSPITAL PRESS SUKOYAKA

特集 FEATURE

がんの手術について

外科・消化器外科 部長 藤田 恒憲（つねのり）

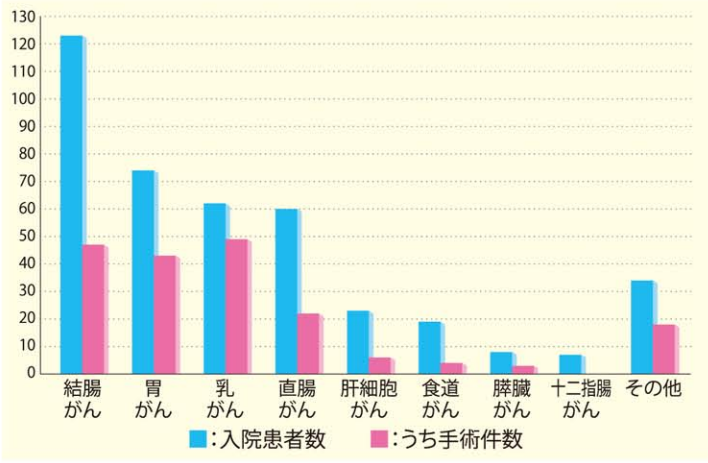
外科では、乳がんから消化器がん（消化管、肝・胆・膵（すい））と非常に多くの種類のがんに対して手術を行い、手術方法も従来の開腹手術から低侵襲（ていしんしゅう）（体への負担の少ない）の腹腔鏡（ふくくうきょう）手術と多様化しています。しかし、がんの種類や手術方法が異なっても、がんの手術は虫垂炎や胆石症といった良性疾患に対する手術とは異なる共通の原則があります。それは、「切除の範囲」です。

昔、がんの手術というと目で見えるがんの部分だけを切除していましたが、その方法では切除した部位と同じ部位に再発を認めました。原因は目に見えないがん細胞が残っていたためです。そのため、現在のがんの手術は目に見えないがん細胞も残さないように、がんから十分離れた正常な部位まで切除する手術が大原則です。さらに、がんが周囲のリンパ節に転移したり周囲の臓器に浸潤している場合には、がんと一緒に切除することが必要です。

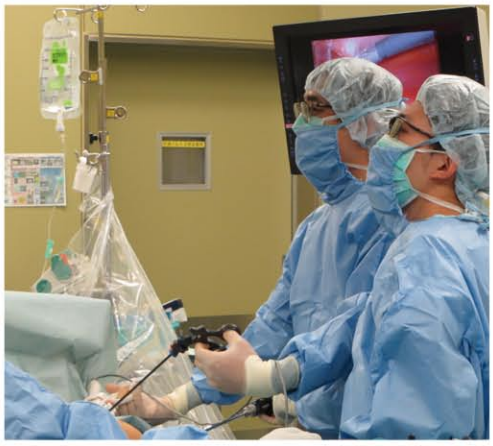
しかし、がんを含めて大きく正常組織を切除する拡大手術は、臓器の機能を低下させ患者さまの生活の質の低下につながるだけでなく、必ずしもがんの治療成績の改善につながらないことが分かってきました。そのため、過去のデータを詳細に解析することで、現在では各種がんに対して治療ガイドラインが作成され、がんの進行度に応じた標準的手術が記載されています。さらにがんの根治性を損なわず、がんの切除範囲やリンパ節をとる範囲を縮小し、できるだけ臓器の機能を温存する縮小手術も行なわれるようになっています。

がんの手術は、がんを完全に切除することで治癒を目指したものですが、残念ながらがんと診断された時点ではがんを完全に切除することが困難な場合もあります。そのような場合でも、化学療法や放射線治療を組み合わせた集学的治療※を行なうことで、がんの完全切除が可能になることがあります。

※集学的治療…がんの種類や進行度にあわせて様々な治療法を組み合わせること。



外科のがんの入院患者数と手術件数（市民病院 平成26年度統計データより）



外科の手術では、3D画像で患部を見ることのできる最新の腹腔鏡装置を導入して手術を行なっています。

TOPICS
トピックス

緩和ケアとは ～こころとからだの「つらさ」に寄り添う～

緩和ケア認定看護師　森 裕紀子

「緩和ケア」と聞くと、治療ができなくなった、最期を待つだけと思われる方も少なくないと思います。しかし、本来の緩和ケアとは、「生命を脅かす疾患に対し、早期から患者・家族の生活の質向上を目標に提供されるチーム医療」を意味します。

現在、日本では2人に1人ががんに罹り、3人に1人はがんが原因で死亡するといわれています。「がん＝死」という概念は消し去ることができないのが事実だと思います。

ご自身、あるいは大切なご家族が「がん」になったらどうでしょう。きっと、不安や悲しみ、あるいは悔しさや怒りが生じてくるのではないでしょうか？これは「こころのつらさ」です。がんになったら痛い、抗がん剤治療をしたら吐く、しんどい。こういった情報を聞いたり、実際にご家族で経験をされたりした方もいらっしゃるかもしれません。

痛みや吐き気、体のだるさなど、身体的なつらさは、医師や看護師にも訴えやすく、症状が強くならないように薬剤を使用する、生活を変えてみるということで対応できます。

しかし、気持ちが落ち込んでどうしようもない時、「こんなことを言っていいのだろうか」、「おかしいことを言っていると思われるのではないか」と思って伝えられないこともあると思います。身体のつらさだけでなく、「がん」と知った時から抱える「こころのつらさ」にも寄り添い、患者さまの「大切にしたいことや時間」「自分らしさ」を大切に患者さまやご家族と一緒に最善の方法を考え、がんと告知を受けた時から「緩和ケア」を提供させていただきます。

一人で苦しまず、身体のつらさ、心のつらさもご相談ください。

認定看護師（Certified Nurse）とは？

日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、特定の看護分野で熟練した技術と知識をもつことが認められた看護師のこと。現在21の看護分野が定められています。

緩和ケアについては1999（平成11）年6月より認定が開始され、「疼痛、呼吸困難、全身倦怠感、浮腫などの苦痛症状の緩和」「患者・家族への喪失と悲嘆のケア」が求められる技術・知識となっています。

日本看護協会ホームページより

Close Up クローズアップ

緩和ケア検討委員会の活動について

緩和ケア検討委員会 委員長　梅田 智子

前ページでご説明した「緩和ケア」をチーム医療で行うために、当院では「緩和ケア検討委員会」を設置しています。

当院の緩和ケア検討委員会は、2010（平成22）年に発足し、活動は6年目となります。

メンバーは医師（麻酔科・外科・消化器内科）、薬剤師、理学療法士、緩和ケア認定看護師、看護師（病棟・外来・地域医療連携室）を含む多職種で構成されています。

委員会立ち上げ後は皆で協働を重ね、「痛み」の評価方法や、チーム連携の仕組みなどのマニュアル作成を実施してきました。また、緩和ケアに関する学習会などを企画し、共に学びを深めたり、痛みを和らげるための医療麻薬を使用されている患者さまや緩和ケアが必要な患者さまが入院された時は、すぐに緩和ケアチームに相談する仕組み作りなど、適切なケアを早期に提供できるよう医療スタッフの意識向上も啓発しています。

本年度より事例検討や病棟ラウンドを加えて、よりよい緩和ケアの実践が出来るよう、チーム活動を推進しています。例えば、痛みの調整が困難な事例では、緩和ケアチームでオープンなカンファレンスを行い、必要な専門職が関わることで苦痛の緩和を図るなど、それぞれの専門性を発揮した検討を進めています。

これからも地域の皆さまと共に、また地域の医療機関と連携して、緩和ケアの普及・啓発活動を行っていきます。どうぞ、ご意見・ご要望などお聞かせ下さい。

病棟ラウンドを行い、緩和ケアが必要な患者さまの状態を多職種で共有します。情報共有する中で、それぞれの専門的な視点をケアに活かせることが多く、チームでの活動を今後も推進してまいります。

委員会は現在14名のメンバーで活動しています。会議は毎月開催しています。

Report

ふれあい看護体験を開催しました

看護部 副部長　藤本 正子

今年も8月5～7日に「ふれあい看護体験」を開催しました。「ふれあい看護体験」の目的は、看護体験をすることで看護師や理学療法師の仕事への理解を深め、将来医療職を目指すという進路決定の機会や学習意欲の向上につなげることです。
3日間で、看護師・理学療法士などの医療職に進みたいと考えている市内の高校3年生49名が参加されました。参加者には、看護ケア見学・血圧測定・シーツ交換などを体験していただきました。体験後、「看護師の仕事は大変ということがよく分かった。でも、勉強して憧れの看護師になりたい」という感想をたくさんいただきました。
高齢化社会が進んでいく中、医療職、特に看護職を体験することができる環境を作っていくことも市民病院の役割であると考えています。今後も、医療職の仕事を知っていただけるイベントを開催していきたいと考えています。

外来ミニ講座を開催しました！

7月16日に今年度2回目となる外来ミニ講座を開催しました。今回は「家での介護」について、退院調整看護師よりお話をさせていただきました。
ある日突然、家族の介護が始まった時、どこに相談すればよいのか、どういった内容を伝えればよいのか、また、介護サービスを利用するための手続きの流れや受けられる介護サービスの内容などについてお伝えしました。介護が必要になった時や、これから必要になりそうな時、地域医療連携室へお気軽にご相談ください。

入院支援センターの勝賀野看護師よりお話しました

ご案内のリーフレットは地域連携室でお渡しできます。

INFORMATION

2年目職員より ～この1年を振り返って～

手術はこれまでに
90件以上経験しました。
右の写真の撮影日は
指導医の立ち会いのもと、
耳鼻科の手術に入りました。

診療部　初期研修医
鶴田 賀之（ともゆき）

Q 1日の仕事の流れについて教えてください。

朝に受け持ち患者さまの診察を行い、体の状態に変化がないか確認し、治療方針について指導医とともに検討します。手術のある日は指導医とともに手術に入り、手術のない日は外来や病棟で患者さまの診察や処置、検査等を行っています。救急患者さまが来院された際には初期対応も行います。

Q 入職してから大変だったこと、成長したことは？

現場に出た初日から医師として対応しなければならなかったことです。初めの頃は分からないことばかりで右往左往していましたが、指導医や周囲の職員、そして何よりも患者さまから多くのことを学ばせていただき、少しずつですが自身で判断、対応できることが増えてきたと感じています。

Q 2年目はどんなことにチャレンジしていますか？

日々たくさんの新しいことや学ばなければならないことに出会います。患者さまに少しでも貢献できるよう、プロ意識を持って技術、知識、心を磨いていきたいと思います。

困った時や迷った時には、
先輩に状況報告をして
アドバイスをいただいています。
アットホームなナースステーションです!

看護部　6階東病棟
足立 里佳

Q 1日の仕事の流れについて教えてください。

出勤時、患者さまの情報収集を行ない、その後、検温・点滴・処置や清潔ケアを行ないます。配薬や食事の状況も観察し、患者さまの状態を看護記録に残し、情報の共有を行なっています。検査の日は予定通りの時間に終えなければいけない処置も多く、毎日忙しくしています。

Q 入職してから大変だったこと、成長したことは？

1年目はナースコールが鳴ってもどうしたらよいか分からないなど、自分のことで精一杯でした。今は冷静に状況を観察したり、落ち着いて周りを見渡す余裕が出てきました。

Q 2年目はどんなことにチャレンジしていますか？

6東病棟はこの春から消化器内科と外科の混合病棟となり、外科経験のない私は毎日がとても刺激的です。まだまだ知識不足を感じる日々ですが、これまでに教わったことを活かしながら、さらに知識を深めていきたいです。初心を忘れず、落ち着いて患者さまと関わっていけるように頑張ります!

Introduction neighboring medical institutions

近隣医療機関のご紹介

市民病院は地域医療連携を推進します。かかりつけ医を持ちましょう！

阿部内科

阿部 和夫 院長

1990（平成2）年に神戸電鉄フラワータウン駅ビル7階に開業して以来、消化器内科を中心として診療しています。上部消化管内視鏡や腹部エコー検査を施行してきましたが、内視鏡は患者さまのご希望に応じて経口と経鼻のどちらにも対応しております。大腸内視鏡検査などの消化器の精査が必要な方は市民病院に依頼して検査を行なっています。循環器疾患など消化器以外の分野でも、市民病院へ定期的に通院していただきながら当院で日常の投薬や診療をしています。

当院では現在在宅診療には対応していませんが、フラワータウンの中心で交通の便は良く、また当駅ビルには眼科、耳鼻科、小児科、心療内科の診療所がありますので、それらの診療が必要な時はビル内での連携が可能です。

〒669-1546 三田市弥生が丘1丁目11 フラワータウン駅ビル7階　　電話 079-562-8478
診察科目：内科、消化器内科
受付時間：午前9時30分～12時30分／午後5時～7時30分
休 診 日：土曜の午後、水曜・日曜・祝日

阿部内科
内科・消化器科

	月	火	水	木	金	土
予約検査 9:00～9:30						
午前 9:30～12:30	●	●	休	●	●	●
午後 5:00～7:30	●	●	休	●	●	休

日曜・祝日一休診
TEL(0795) 62-8478

新任医師紹介

Introduction of new physician

脳神経外科では7月より新しく医師を迎えました。より一層日々の診療に力を入れてまいります。

脳神経外科 医長　垣田　寛人　*Hiroto Kakita*

出身地：京都　　趣味：バスケットボール

7月から勤務させていただいています。三田市や周辺地域の脳卒中をはじめとした脳外科疾患に対して迅速に対応し、頚動脈狭窄や未破裂脳動脈瘤などの治療による発症予防にも力を入れていきたいと思います。近隣の住民の皆さまや先生方のお役に立てるよう頑張っていきます。よろしくお願いします。

お詫びと訂正

すこやか7月号について下記のとおり誤りがございました。謹んでお詫び申し上げるとともに、ここに訂正いたします。
6ページ　「近隣医療機関のご紹介」　森本耳鼻咽喉科医院
誤 森本　正紀（もりもと　まさき）院長　　正 森本　正紀（もりもと　まさのり）院長

編集後記

暑い夏が終わり、短い秋がやってきます。今年は猛暑日が続いたので、涼しくなるとホッとします。秋は寂しいイメージがありますが、植物が実をつけるように実りのある季節になればいいなと思っています。

すこやか（第187号）平成27年9月発行
編集・発行　三田市民病院
学術広報推進委員会

三田市民病院
〒669-1321 三田市けやき台3丁目1番地1
TEL.079-565-8000（代表）
http://www.hospital.sanda.hyogo.jp/